

研究主題「一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育の推進」に関する本校の実践

学校名 宮代町立東小学校

1 教師と児童生徒の信頼関係を築くために、あるいは、いじめ・暴力行為・不登校等の生徒指導上の課題を解決するために、小・中連携（小中一貫）をとおして具体的にどのような取組をしているか。

本校は、平成24・25年度、小中一貫教育推進モデル事業（百間中学校区）として埼玉県教育委員会の委嘱を受けて、不登校・いじめの増加など、いわゆる中1ギャップへの対応や学習意欲・理解度の低下などの対応に対しての研究に取り組んでいる。特に、「小中学校9年間の学びや育ちの連続性を重視した教育」を重点に実施している。

本校の具体的な取り組み

(1) 教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」の取り組み

- ① 基本的な生活習慣や学習習慣の中から焦点化して取り上げた内容（礼儀正しく人と接することができる、約束やきまりを守ることができる）をねらいとした道徳、学級活動（年間計画）の実施
- ② 朝の活動 8時15分～30分〔第4週〕すこやかタイムでの「日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関する内容」の指導

(2) 月別の生活目標と全校朝会指導

- ① 児童の意識化を図る月別生活目標の教室および廊下等への掲示
- ② 全校朝会での生徒指導部担当者による「今月の目標」についての話
- ③ 毎月（最終日）の生活目標の児童による自己評価および担任による学級の生活目標達成状況把握
- ④ 生徒指導主任による全体の達成状況のまとめと全職員での問題点および対策の共有化

(3) 家庭・地域との連携

- ① 保護者（家庭）との連携…連絡帳の活用や週の学習予定表の配布
- ② 家庭訪問の実施…平成25年6月10日から14日までの5日間生活指導に生かす地域環境、家庭環境の担任による把握
- ③ 教育相談の実施…放課後・長期休業中・全保護者対象の個人面談（11月6日から15日までの5日間を予定）

- ④民生児童委員・主任児童委員連絡協議会の実施… 年2回実施
 - 第1回 平成25年8月23日
 - 子どもたちの様子の話し合い（地域や家庭での生活安全、心身の健康等）
- ⑤地区懇談会の実施…平成25年8月29日（木）
 - 地区毎に保護者、スクールガード、交通指導員と話し合い（地域や家庭での生活安全、心身の健康、危険箇所等）
- ⑥スクールガードの見守り…地域の組織、情報交換、登下校を中心とした声かけ指導等
- ⑦児童の問題行動…速やかな家庭との連絡および指導（児童よりも早く家庭に連絡）
- (4) 学校全体での取り組み
 - ①担任だけでなく、全職員での「声かけ」指導
 - （朝の挨拶指導 6年生による朝の挨拶ボランティア・登下校指導等）
 - ②問題発生時の組織的取り組み（管理職へ連絡＜報・連・相＞生徒指導部会・生徒指導特別支援教育委員会・臨時安全指導委員会・関係職員の話し合い等）
 - ③チャンスをとらえての全校指導
 - （問題行動発生時の指導認識・全校一斉の取り組み）
 - ④「すこやか賞」の実施…校長から表彰
 - （職員推薦による善行児童への表彰状とメダル・模範となった行動内容の掲示）
- (5) 小中一貫教育
 - ①小中一貫教育合同研修会の開催〔夏季研修会平成25年8月7日、カリキュラム編成部会・授業研究部会平成25年8月22日〕
 - （問題点の話し合い、指導連携の視点、方策についての協議）
 - ②三校小中連絡会
 - （小中の連携・児童生徒の健全育成のための情報交換）
 - ③陸上大会に向けた陸上競技練習および鼓笛隊金管バンド練習（教員交流、児童同士交流、児童生徒同士交流）
 - ④学習等の中学教員による6学年児童への指導（外国語活動 毎週各クラス1時間・数学 学年末）
- (6) 少人数指導による学力向上
 - ①算数科における少人数指導（5・6年実施）
 - （一人一人の個に応じた指導・基礎基本の定着）
 - ②理科におけるTT指導（5・6年実施）
- (7) 指導を要する児童の情報交換および共通理解
 - ①職員会議等での担任からの報告・全職員での指導援助等の情報交換、共有化
 - （異学年フレンドグループのメンバー編成および活動・フレンドグループでの全校遠足・サマースクールおよび夏季水泳指導など）
 - ②個人カードの記入および活用
 - （行動の記録・担任および前担任等関係者による情報交換）